

持続可能な野菜生産に向けて

～加工・業務用野菜の生産に取り組みましょう～

1. 持続性の高い農業経営とはなんで
しょうか？



安心した経営とは・・・
資材費高騰の中で、野菜
価格が再生産費割れせ
ずに、販売成果を安定的
にあげることです。

安心した経営が図ら
れれば、地域農業の
発展や担い手の確保
にもつながるのでは
ないでしょうか？



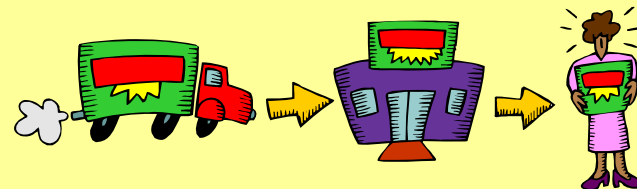
2. 産地は、最近の野菜需要に
対応すべきではないでしょうか？



最近の野菜需要はどうなってい
るのでしょうか？

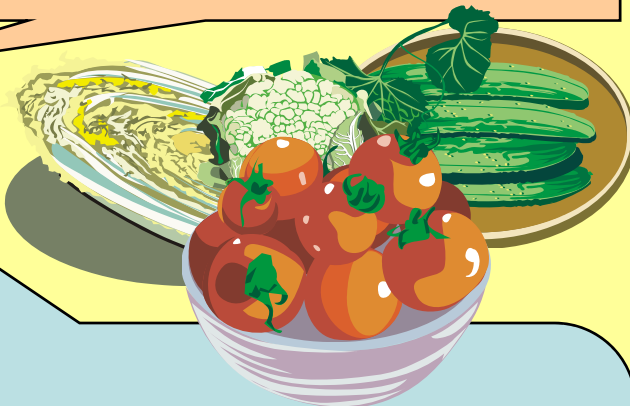
全野菜需要の過半は、
加工・業務用需要と
なっています。

産地間競争で卸売市場を経由した一
般的な委託出荷で、加工・業務用需要
への対応は可能なのでしょうか？



3. 加工・業務用野菜の生産へのメリットを考えましょう！

生産者が、加工・業務用野菜の生産に取り組む理由はなんでしょう？



メリットは・・・

① 農業経営の安定

販売数量、販売価格があらかじめ決まっていることから、収入が予測可能。

② コストダウンが可能

通い容器等による流通経費の削減、規格の簡素化により、出荷数量が拡大。

③ 規模拡大が可能

規格の簡素化による選別や出荷作業の軽減。

農林水産省は、平成21年度から生産者が加工・業務用野菜を生産流通する取組への支援策として、「国産原材料供給強化対策」(概算決定額51億円)を実施することとしています。

当該事業のご活用は農林水産省生産局流通加工対策室までご連絡ください。TEL:03-3502-8111(内線4791)

4. 加工・業務用の野菜の生産への課題を解決しましょう！

「実需者ニーズ」とのマッチングはどのようにすればよいでしょう？



加工・業務用野菜の生産が可能になるには・・・

「実需者ニーズに対応した加工・業務用野菜の生産体制の整備」ではないでしょうか？

先進事例を踏まえると、「中間事業者」を介した新たなサプライチェーンの構築が見られ、今後はこういった安定供給の経路を確保することが必要ではないでしょうか！生産者団体も中間事業者に発展すべきではないでしょうか！

「中間事業者」とは、

産地と食品製造業者等をつなぎ、産地から購入した農産物を食品製造業者等のニーズに合わせて安定的に供給することに加え、加工・業務用需要に対応できる産地を育成・指導する機能を有する者・部門の総称です。